

平成30年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家

教育事業名： 豊かな実践活動・体験活動推進フォーラム

期間： 平成30年11月23日(金・祝)～11月24日(土)

対象及び参加人数：

青少年教育指導者、教員、学生、教育委員会関係者、保育者、自然体験活動に興味がある者、自然体験活動の指導者・指導者を目指す者、等 58名

目的：

青少年を取り巻く様々な問題や課題を客観的かつ多角的にとらえ、未来を担う子供達にとってよりよい体験活動のあり方について考える場を造成する。青少年教育、幼児教育、学校教育、指導者養成、企業との連携等、様々な分野からの実践発表や問題提起を受け、青少年教育施設における豊かな実践活動や体験活動を推進していくための方策を講じる場とする。

事業概要：

全国小学校学校行事研究会との共催事業、日本ボランティア学習協会の協力を得て、以下の①～④の分科会を設定し、その分野で活躍されている方から実践発表と話題提供をしていただいた。発表を聞いた上で、参加者の皆様からグループ討議をしていただき、様々な情報交換の場を提供した。また、それぞれの分科会のテーマに合った指導者の皆様から適切な助言とご指導をいただき、有意義な意見交流の場とすることができた。

①集団宿泊活動の活用～カリキュラム・マネジメント～

指導者 百目鬼 弘道 氏 (妙高市立妙高高原北小学校 教頭)

発表者 田口 敏之 氏(あきる野市立増戸小学校 教諭)・大森 山 氏 (糸魚川市立糸魚川東中学校 教諭)

②青少年教育施設で育つボランティア

指導者 中野 充 氏 (新潟青陵大学准教授)

発表者 及川 未希生(国立妙高青少年自然の家 企画指導専門職付)・岩城桃子さん(新潟青陵大学 学生ボランティアコーディネーター)・中山結衣さん、三好愛美さん(国立妙高青少年自然の家 法人ボランティア)

③幼児期の自然体験活動の有効性

指導者 小菅 江美 氏 (森のようちえん全国ネットワーク連盟 理事)

発表者 小林 誠 氏(越後松之山「森の学校」キョロロ 学芸員)・渡辺 沙織 氏 (門前にこここ保育園 保育士)

④特別支援教育における自然体験活動

指導者 野口 和行 氏 (慶應義塾大学体育研究所 准教授)

発表者 三田村 貴弘 氏 (新潟県立高田特別支援学校 教務主任)・赤間 樹 氏 (千葉県立印旛特別支援学校 教諭)



成果：

指導者と発表者の素晴らしい実践と、参加者の方々にもグループワークで実践や課題と感じている点について話す機会をもったことにより、多くの情報を得ていただくことができた。また、施設としても様々な分野の方からの実践を聞くことができ、教育事業の企画や利用団体への助言にも役立つ情報を多く得ることができた。

課題：

事業に参加していただいた方々には、とても好評で満足していただくことができたが、参加者の人数が少なくなっている。ニーズに応えるテーマの設定が必要であると感じた。また、4年目となり、発表者についても選定が難しくなっている。多くの皆様に参加していただけるようなテーマや発表者について検討が必要である。